

福岡・糸島にリゾート

ホテルやレストラン開発のIMDアライアンス(福岡市、麻生宏最高経営責任者＝CEO)は

福岡県の糸島半島で複合リゾート開発に乗り出す。7月にまずレストランとテークアウト専門の軽食店を開業し、大型サーフボードに立ってパドルをこぐ「サップ」などマリンアクティビティを提供。民泊を活用して宿泊に対応し、3年をメドにホテルを建設。通年型リゾート地に育てる。

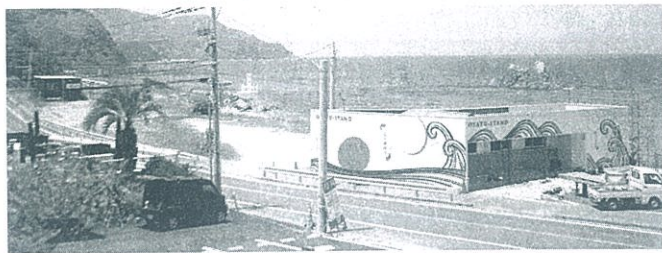
IMDアライアンス

まず飲食店・マリン体験

民泊・ホテル整備 通年型に



糸島で7月に営業を始める「筑前二見ヶ浦商店」(福岡市)



リゾートの総称は「月と太陽 ライフスタイルリゾート」。玄界灘に浮かぶ「夫婦岩」で知られる糸島半島北部の二見ヶ浦地区の福岡市側で約9900平方メートルの土地を取得。同市が進める市街化調整区域の土地利用規制緩和制度を活用し、飲食店やホテルを開発する。

敷地面積は将来2倍ほどに広げる方針。

麻生氏は「日本的な感覚をベースとしたモダンなリゾート施設にする」と語る。福岡市都心部や福岡空港から車で1時間未満の距離で、訪日外国人(インバウンド)需要も取り込めるとみる。

「糸島茶房」と、冷やしぜんざいやかき氷といった和スイーツのテークアウト専門店「筑前二見ヶ浦商店」をオープンする。今夏にはサップや砂浜でのヨガ体験などといったマリン関連スポーツの体験サービスを他社と提携して提供する。糸島半島は自転車愛好家に人気があることから、ロードバイクの預かりサービスやスポーツタイプの電動アシスト自転車「eバイク」の貸し出しサービスも整備する予定だ。

定だが、その前に周辺で別荘などの有休不動産を活用した民泊を先行開発し、宿泊需要を取り込む。同社は住宅宿泊管理業に登録し、会員限定の高級民泊施設「糸島のとき」を運営している。こうした施設を今後1年で20拠点まで増やす計画だ。IMDアライアンスは福岡市内で「星期菜」などの高級飲食店やカフェを展開するほか、レストランの料理を仕出し弁当で提供する事業などを運営しており、リゾート事業との相乗効果を狙う。(今堀祥和)